

令和8年4月8日

報道機関各位

国立大学法人 岩手大学

岩手大学理工学系技術部の3名が受賞

～令和8年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞～

平素より本学の教育研究活動に対し、格別のご高配とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、岩手大学理工学系技術部の千葉寿技術室長、古舘守通技術専門員および藤崎聡美技術室長が「DX技術で様々な警報を通知する安全な研究環境整備への貢献」の業績で、令和8年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 研究支援賞 高度技術支援部門を受賞しました。本賞は科学技術に関する研究開発等において顕著な成果を収めた者についてその功績を讃え、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的としています。

業績の背景：

感染症拡大に伴う立ち入り制限下で、24時間稼働する実験装置の異常を遠隔地に通知できない課題が浮き彫りとなった。従来の警報は現場に人がいることを前提としており、無人時のトラブル等による研究資産の損傷が相次いだ。また高価な監視システムの導入は各研究室にとって負担が大きく、安価で汎用性の高い遠隔警報通知手段の構築が強く求められていた。

支援の内容：

本業績では、市販の通信機器やクラウド技術を活用し、低コストかつ簡便に異常を通知する汎用警報システム「WAN-WAN (Wireless Alarm Network for Wide Area Notification)」を独自に開発した。これにより既存装置の警報信号等を検出し、スマートフォンやスマートスピーカーへ即時に通知する仕組みを構築した。一般的なWi-Fiを活用するため配線工事を不要とし、多様なセンサーとの連携や既存設備への容易な後付けを可能にした。

当該業績の支援を受けて行われた研究開発の内容：

本業績の支援を受け、全国の11大学および3つの研究機関を含む広範な施設で安定的な設備管理が実現した。過去3年間で50件以上の異常検知の奏功事例が報告されており、重大な漏水事故や高価な実験装置の損傷を未然に防ぐことで、研究活動の継続に直結した。これにより研究者は不在時や休日でも安心して装置を稼働させ、研究に専念できる環境を整備した。



業績の社会的効果・実施効果：

本業績により、24時間体制で連続した実験が必要な研究においても、限られた予算・人員で高度な安全管理が可能となった。研究者の精神的負担の軽減やワークライフバランスの改善にも寄与するなど、社会全体の危機管理能力向上に資する波及効果をもたらした。

今後の展開について：

本業績で活用する汎用警報通知システム「WAN-WAN」は、特許技術である通知システムにより高い信頼性を持ち、市販の安価なセンサーやスマートスピーカーと連携することで福祉・高齢化社会基盤にも転換できる。今後は離床、入浴、来客等の多様な信号を「光・振動・音声」へと変換する技術開発にも最適化し、一般社会での利用に向け社会還元を目指す。

表彰式について：

本表彰に係る表彰式は、令和8年4月15日（水）に文部科学省において開催される予定です。

参考資料

[【令和8年度科学技術分野の文部科学大臣表彰発表ページ】](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_01620.html)

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_01620.html



[【研究支援賞 受賞者一覧】](https://www.mext.go.jp/content/20260402-mxt_sinkou01-000048647_3.pdf)

https://www.mext.go.jp/content/20260402-mxt_sinkou01-000048647_3.pdf



[【WAN-WAN について】](https://wan-wan.tech.iwate-u.ac.jp/?page_id=82)

[システム解説および参考動画](https://wan-wan.tech.iwate-u.ac.jp/?page_id=82)

https://wan-wan.tech.iwate-u.ac.jp/?page_id=82



【本件に関するお問い合わせ】

岩手大学技術部 理工学系技術部

技術室長 千葉寿

電話：019-621-6908

メール：chibah@iwate-u.ac.jp

総務広報課：

〒020-8550

岩手県盛岡市上田 3-18-8

TEL 019-621-6015

FAX 019-621-6014

E-MAIL kkoho@iwate-u.ac.jp

